

水稻生育情報 (No.1)

令和元年6月 3日
 県西農林事務所 経営・普及部門
 (筑西地域農業改良普及センター)

【生育概況】

本年5月の気象は、気温が平年よりも1.7℃高く、降水量は平年の73%と少なく、日照時間は平年の147%と多くなりました。

水稻定点調査における管内の「コシヒカリ」生育状況を下表に示します。5月30日現在の生育は調査地点によりバラツキが大きいものの概ね順調で平年並みの生育量となっています。

表1 水稻定点調査結果 (5月30日現在)

調査地点	田植え日 月/日	植付株数 株/坪	草丈 cm	茎数 本/m ²	葉色	
					葉色版	SPAD値
筑西市	5月1日	36	30.4	178	5.0	41.5
一本松	(5月2日)	(60)	(27.9)	(245)	(4.7)	(38.2)
下妻市	5月1日	47	30.0	190	5.1	42.2
加養	(5月1日)	(47)	(30.9)	(198)	(5.0)	(40.6)
桜川市	5月17日	65	20.7	128	2.9	26.3
元岩瀬	(5月14日)	(59)	(27.1)	(117)	(4.3)	(34.3)
桜川市	5月4日	50	28.0	166	4.2	38.2
真壁町飯塚	(5月6日)	(53)	(27.5)	(175)	(4.6)	(37.8)

()内は平成26~30年の5ヵ年平均値

【これからの栽培管理のポイント】

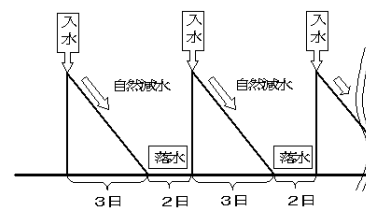
- ・老化苗の移植等で、一部活着不良により生育が遅れている圃場が見られます。浅水管理で田面の温度を上げ、分けつの促進を図りましょう。
- ・4月中に移植した場合、既に中干し開始時期になっているところがあります。
分けつ盛期になると茎数は急激に増えるので、中干しの適期を逃さないようにしましょう。
- ・過剰な分けつは無効分けつや倒伏を助長します。
- ・中干しで田面を固めることで、収穫直前まで落水時期を遅らせても機械作業に必要な地耐力が確保できます。落水を遅らせることで、乳白粒の発生抑制や千粒重の増大にもつながります。
- ・中干し期間中に葉色が低下しますが、追肥は控え、穂肥まで待ちましょう。

中干しの時期と方法 (コシヒカリ)

開始時期	茎数330本/m ² 程度となったとき (坪60株で18本/株) 田植え35日後が目安
実施期間	葉色が濃い場合 (葉色値で4.5以上) 15~20日 葉色が薄い場合 (// 4.5程度) 10~12日
終了時期	葉色が4.0程度に落ちた時期 幼穂形成期 (出穂の30日前) までには終了
中干し程度	田面に亀裂が生じ、軽く足跡がつく程度 水保ちの良い水田では強め、水はけの良い水田では弱めに実施

【中干し後の管理について】

- ・中干し後のイネの根は畑作物に似た形質を示し、常時湛水で管理していると根腐れを起こす危険が高まるため、根の活力保持のためにも間断かん水を行いましょ。
- ・2~3日湛水管理(入水後自然落水)し、落水状態を1~2日程度保つサイクルを繰り返します。落水時には田面が多少乾いても問題ありません。



※間断かん水の一例